

令和7年2月定例記者会見要旨

開催日時 令和7年2月13日（木）午前11時30分 大会議室

（総務部長）ここから、2月の定例記者会見に移らせていただきたいと思います。よろしくお願いします。市長お願いします。

（市長）では続いて、着座のままで失礼いたします。諏訪市の3月のスケジュールにつきましてはお手元に、主な行事予定と教育委員会からのインフォメーションを配布させていただきました。

○諏訪市文化財講演会「推し活しよう！徳川家を支えた諏訪家と墓所」

3月20日（木・祝） 13:30～15:00 諏訪市博物館学習室

◇高島藩主諏訪家墓所

- ・諏訪市湯の脇の温泉寺は高島藩主諏訪家の菩提寺として創立され、諏訪家2代～8代の墓所がある。（茅野市の頼岳寺にも初代とその両親の墓所がある。）
- ・平成29年に、諏訪市・茅野市の両墓所が国史跡に指定。（諏訪市初の国史跡）
- ・他に例を見ない巨大で独特な形状の藩主墓碑が並び、敷地には藩士が奉納した石灯籠が約120基並ぶ。

◇諏訪市が進めている諏訪家墓所の保存活用に関する事業

- ・教育委員会では令和4年度に「高島藩主諏訪家墓所保存活用計画」を策定し、墓所の文化財的価値を整理し、今後の保存や活用の方針を定めたところ。
- ・令和5年度から、保存活用計画に基づいて墓所をどのように整備していくか、その方針や方向性を定める「整備基本計画」の策定作業に着手している。
- ・整備基本計画を策定したのは、基本計画に基づいて具体的な整備の方法を定める「整備計画」を作成し、整備に着手していく見込み。

◇本講演会の開催目的と意義

- ・今後、墓所を整備していくには、少なからず期間と予算が必要になってくる。墓所が国史跡に指定されてから、教育委員会ではその貴重性や重要性などについて周知のための取組を行ってきたが、さらにPRを重ねることで、市民の皆様に墓所やその整備事業について知っていただけるよう、講演会を企画した。
- ・講師は石造文化財調査研究所代表の松原典明氏。同氏は日本を代表する石造文化財の専門家であり、墓所の保存活用計画・整備基本計画の策定委員を務めていただいている。
- ・松原氏は江戸時代の藩主墓所にも精通しており、全国各地の藩主墓所の事例との比較から諏訪家墓所の特徴についてのお話も聞ける予定。
- ・諏訪市には全国的にも遜色ないすばらしいお宝があり、それを市民の皆さんが誇りに感

じ、今後の保存や整備の応援団になっていただければと思う。

また教育委員会の3月行事予定表が配られております。たくさんのイベントがありますので取材の方をお願いいたします。こちらからの説明以上となります。

(総務部長) ここからは、記者クラブの方にマイクを移したいと思います。

記者との質疑応答

○最終処分場について

(記者) 最終処分場の調査費用として、調査委託料を計上していますが、来年度に調査するかどうか決まっているのか、決まっていないのか、お答え願います。

(副市長) 今、検討会議で進めている選定が一定程度整えば、7年度中に調査に着手したいと思っています。その選定が整わなければ、予算を執行しないということになります。予算を計上して、できるだけ早く、選定をしたいという覚悟のあらわれだと思っていただければと思います。

(記者) 7年度中の調査開始を目指すということで、間違いありませんね。

(副市長) はい。

(記者) 今の関連ですがこれまではそういう調査費は計上していたのですか。

(副市長) 板沢地区を選定した時に、同じく調査をしておりますが、その時には、最終処分場の調査費という名目ではなくて、別の調査費として行われたと記憶をしております。それ以降は、特に調査を行っておりませんので、予算措置はしていません。

○文化センターについて

(記者) 文化センターの実施設計業務の関係で、実施設計業務の市民、団体への説明ですが、市民、団体の都合に合わせて説明を行うというようなお話でしたが、今までその申込みはあったのでしょうか。

(教育次長) 現状申し込みはございません。お申し出いただければすぐに参りますので、また記事で周知していただければと思います。よろしくお願いいたします。

○チョイソコかりんちゃんについて

(記者) 市長は先日、チョイソコかりんちゃん、実際に市役所から乗車されたと思います。乗ってみての感想があれば、よろしくお願いいたします。

(市長) はい。ホテル紅やでのイベントの際に使わせてもらいました。我が家から一番近いバス停は、テンハウの前か市役所の正面玄関です。市役所の正面玄関を指定しまして、10分前ぐらいに来たのですがすでにバスは到着しており、お伺いしたら貸切状態だったということで、直通でホテル紅やの近くのバス停に着けてもらいました。運転手さんもまだ練習中ということで、大変慎重に予約を確認して、そして前回記者会見の場で購入いたしました回数券、2000円で、2500円分乗れます。これを早速QRコードで決済しましたら、250円と

出て、そして出発しました。バスですので、小さな車が行くような細い道は通れません。それからルートが上りか下りか、着けるバス停の位置によってコースが変わるので、できるだけ大きな道を通りますということは仰っておりました。安全な道を通りますというお話をしながらバス停に着けてもらいましたが、所要時間は他に乗り合いの方がいらっしゃらなかったもので、思ったよりも早く到着しまして大変便利だと思いました。まだ 200 ヶ所以上のバス停がありますので、運転手も OJT 的なところもあり、「この辺にあったはずです…」というような様子でスローダウンをして「ありました」などと言っていた感じでした。たくさんの方々がエントリーしていただいて乗るようになると、さらに、運行してくださる皆さんのスキルもどんどん上がっていくのではないかと期待したいところです。初体験でございましたが、今度は諏訪大社の方に行く機会があったら乗ってみたいなと思います。たまたま、今、土日の運行期間です。それで利用できたのですが、平日はなかなか仕事が詰まっていって乗れないのですが、また感想を皆さんから集めるということを企画は用意していると思いますので、ぜひ皆さんに乗って欲しいということを宣伝していただけたら嬉しいです。よろしくお願いします。

（記者）記者クラブからは以上です。ありがとうございました。

（総務部長）長時間にわたり大変ありがとうございました。以上をもちまして、令和 7 年度当初予算案の記者発表及び定例の記者会見を終了します。ありがとうございました。